

## AI オンデマンド交通 宮城・利府町で実証

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツらは27日、宮城県利府町でAIオンデマンド交通の実証実験を始めた。期間は2024年3月31日まで。アプリや電話で呼ばれた車両が、AIで予約状況や道路状況を踏まえ最適ルートで相乗りしながら目的地まで移動する。実証実験を通じて、高齢化が進むエリアでの新しい交通サービスの導入可能性や課題などを検証する。

実証実験を行うのは、利府町を主体とする「利府町版mob iプロジェクト推進協議会」。協議会にはオリエンタルコンサルタンツのほか、宮城県内でバスを運行するミヤコーバス、相乗りオンデマンド交通サービスを提供するコミュニテ

イモビリティなどが参画している。

実証実験にはコミュニテイモビリティが提供するAIオンデマンド移動サービス「mob i（モビ）」を導入する。アプリや電話で車両を簡単に呼べる。車両は予約状況や道路状況を考慮して、最適なルートで相乗りしながら目的地まで効率よく移動する。1カ月間の定額乗り放題プランなど、利用状況に応じた料金プランを用意する。

オリエンタルコンサルタンツは利用状況を分析したり、利用者と事業者の意見を収集したりして実証事業を評価。結果を踏まえ、事業推進に向けた改善方針を検討する。

利府町は実証実験を通じて、高齢者や子育て世代に利用しやすい交通サービスを提供し、さまざまな人にとって快適な生活空間の構築を目指す。

高齢化が進む利府町では路線バスや町民バスの便数が限られており、自動車移動ができない高齢者の交通サービスの提供が課題となっている。中心市街地と居住エリアが離れており、徒歩や自転車での移動が容易にできないため、マイカー依存が恒常化しているという課題がある。